

Macmail Exchange 設定

多要素認証対応 OS : 10.15.5 Catalina 以降

「長崎大学 Microsoft アカウント」が必要となります。

長崎大学 Microsoft アカウントは以下の通りです。

【ユーザー名】

長大 ID@ms.nagasaki-u.ac.jp 例) aa8xxxxxxx@ms.nagasaki-u.ac.jp

【パスワード】

長大 ID 用のパスワード

※Web メールにサインインした後に設定下さい。

1. Macmail を起動します。



2. 【メール】 → 【アカウントを追加...】 をクリックします。



3. 下記の様な画面が出た場合は、【Microsoft Exchange】をクリックし、【続ける】をクリックします。

メールアカウントのプロバイダを選択...

iCloud

Microsoft Exchange

Google™

yahoo!

Aol.

その他のメールアカウント...

? キャンセル **続ける**

4. 名前を入力し、メールアドレスに【長崎大学 Microsoft アカウント】を入力し、【サインイン】をクリックします。

Microsoft Exchange

最初に、次の情報を入力してください:

名前:

メールアドレス:

キャンセル **サインイン**

長崎大学 Microsoft アカウントを入力します。
<長大 ID>@ms.nagasaki-u.ac.jp
例) aa8xxxxxxx@ms.nagasaki-u.ac.jp

5. 下記の画面が表示されたら、【サインイン】をクリックします。

Microsoft Exchange

MicrosoftでExchangeアカウントにサインインしますか？

Exchangeアカウント情報を検出するために、メールアドレスはMicrosoftに送信されます。

キャンセル 手動構成 **サインイン**

6. パスワードに【長大 ID 用のパスワード】を入力し、【サインイン】をクリックします。



7. 下記のような画面が出た場合は、多要素認証の設定を行ってください。
多要素認証の設定は、[こちら](#)をご確認ください。



aa @ms.nagasaki-u.ac.jp

詳細情報が必要

ご使用のアカウントを保護するため、組織ではさらに情報が必要

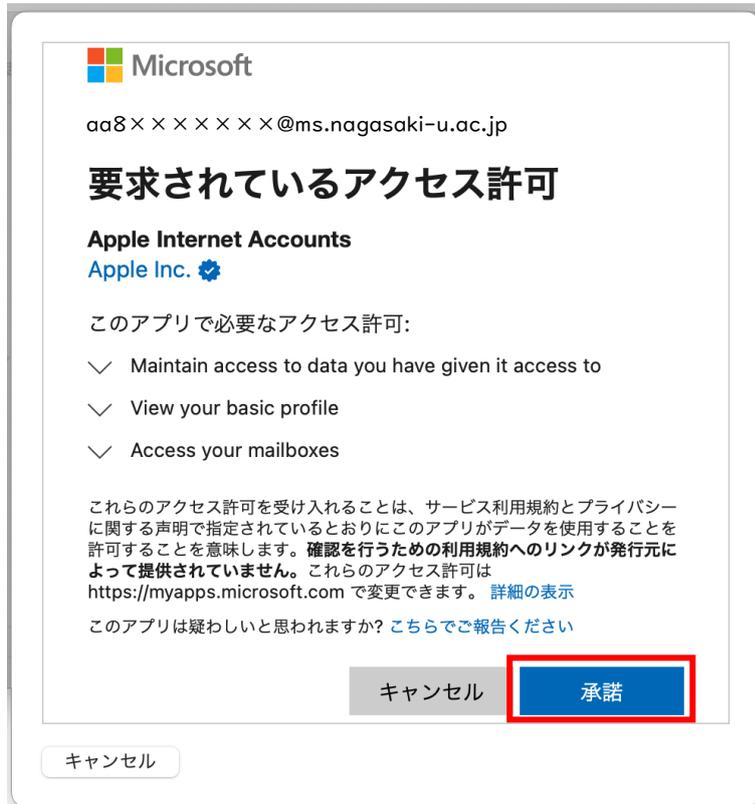
[別のアカウントを使用する](#)

[詳細情報の表示](#)

次へ



8. 【承諾】をクリックします。



9. メールにチェックが入っていることを確認してください。その他については、ご利用に合わせて選択し、【完了】をクリックします。





10. 下記の画面が表示される場合は、【“メール”でのアクティビティを保護しない】を選択し、【続ける】をクリックします。



メールプライバシー保護

メールプライバシー保護により、IPアドレスが非公開になり、メールメッセージを開いていない場合でも、リモートコンテンツがバックグラウンドでプライバシーを保護した形で読み込まれるようになります。これにより、送信者があなたの“メール”でのアクティビティを追跡することが困難になります。

[詳しい情報...](#)

“メール”でのアクティビティを保護
IPアドレスを非公開にし、リモートコンテンツをすべてプライバシーを保護した形で読み込みます。

“メール”でのアクティビティを保護しない
IPアドレスを公開し、すべてのリモートコンテンツを直接デバイスに読み込みます。